

2023年度前期 山梨学習センターゼミ

ゼミ 予定 日	会場	講師	テーマ	ゼミ概要
			ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
第2 水曜 日 4/12 5/10 6/14 7/12 8/9 9/13	会議室	(定員) 5 名 センター所長 村松 俊夫	古典的図学入門—正投影編— 募 集 終 了 毎回内容の訂正を行うので、あらかじめ用意したプリント上に、必ず定規・パス・消しゴムを使って簡易な立体や空間を描いてください。書画カメラで投影する映像を見ながら、いっしょに作図していきます。立体を認識する力や空間を把握する力が養えますよ。 ※2学期は一透視図編—を予定しています。	18世紀後半のフランスにおいて、ガスパール・モンジュが画法幾何学(図学)を体系化しました。その考え方をもとに、3次元の立体や空間を2次元上に計量的に正しく表示していく正投影図法の初歩を学びます。 比較的大きめ(24cm~30cm)の三角定規セット、軸長15cm程度のコンパス、細くてしっかりした線・太くて濃い線が引ける鉛筆2種、消しゴムが必要です。同等のものであれば、百貨ショップのものでも構いません。
第4 木曜 日 4/27 5/25 6/15 7/27 8/24 9/21	会議室	(定員) 5 名 客員教授 島 弘幸 (山梨大学教授)	数の世界で遊ぶ インターネットや推薦図書などから、各自で自由に話題を探してもらい、その話題をゼミの場で紹介してもらいます。算数に関する豆知識や、数学者の歴史、過去に出題された奇問難問など、話題はどんなものでもOKです。ゆっくり&自由に&楽しくやりましょう!	指を折ってモノを数える時の「数」から、最先端の科学技術で駆使される「数」まで。私たちの用いる「数」はバラエティに富んでいます。このゼミでは、そんな不思議と謎に満ちた数の話題に触れながら、お互いの知的好奇心をくすぐり合いましょう。 推薦図書の例: ○虚数の情緒(東海大学出版会) ○はじめまして数学 リメイク(東海大学出版会) ○数学が好きになる数の物語100話(ニュートンプレス) ○世にも美しき数学者たちの日常(幻冬舎)
第2 木曜 日 4/13 5/11 6/8 7/13 8/10 9/14	会議室	(定員) 4 名 客員教授 仲本康一郎 (山梨大学教授)	ことばの研究会 募 集 終 了 言語学入門の初級講座がすでに進めていきます。また、受講生の関心があるのかで興味を持ったテーマを掘り下げ、調べてきてもらい、発表してもらおうと思います。	言語学を背景にして、ことばについて学び合う研究会です。文法、語彙、文章、談話、レトリック、コミュニケーション、ことばと認識、ことばの発達、社会的バリエーション、言語教育、メディアと政治など、さしあたりテーマは問いません。 このゼミが、ことばに関心を持つ皆さんにとって、双方向の学びの場となることを願っています。 参考図書:『言語学入門』(斎藤純男、三省堂)
第3 木曜 日 4/20 5/18 6/15 7/13 8/10 9/21	会議室	(定員) 5 名 客員准教授 菊地 淑人 (山梨大学准教授)	地域の「価値」を探り、発信する ゼミ前半では教員から関連するトピックについて話題提供をします。後半では、日常の生活空間のちょっとした観察から、街角での小さな「発見」を毎回紹介してもらいながら、地域の新たな見方やその発信の仕方を考えていきましょう。	さまざまな地域資源(文化財、自然、農産物など)は身近なところにもたくさん眠っています。このゼミでは、そうした地域資源の価値(魅力)の探し方、伝え方について議論を深め、地域の豊かさを考えるきっかけにいきましょう。 2回目以降、身近な地域資源の発見報告(…といっても構えるほど難しいものではありません)をしてもらいます。発表準備のためにカメラ(携帯電話やスマートフォン搭載のものでまったく構いません)があると便利です。
第4 木曜 日 4/27 5/25 6/22 7/27 8/24 9/28	講義室1	(定員) 5 名 客員准教授 小島 千か (山梨大学准教授)	音楽と絵画の聴き方・見方 音楽や絵画は、人それぞれで興味が異なり、聴き方や見方も異なると思います。そこで、参加者の皆さんに、好きな音楽や絵画、季節に合った音楽や絵画などを提供していただき、聴いたり見たりしてディスカッションします。	様々なジャンルの音楽や絵画を聴いたり見たりして意見交換し、聴き方・見方が広がることを目指します。 ジャンルは問いませんので、お好きな音楽や絵画を考えておいてください。
第4 火曜 日 4/25 5/23 6/27 7/11 8/22 9/26	会議室	(定員) 6 名 客員准教授 田中健史朗 (山梨大学准教授)	人の「こころ」(心理)について考える 募 集 終 了 各回で取り上げるテーマについて、事前に各自事前学習を行うことができます。ゼミでは各自の事前学習をもとに討議を行います。	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。 取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について第1回ゼミで説明します。
第3 木曜 日 4/20 5/18 6/15 7/27 8/17 9/21	講義室2	(定員) 6 名 客員准教授 鳥山 孝司 (山梨大学准教授)	エネルギーと環境について考える ゼミ前半は、現在のエネルギー事情や、実際に取り組まれていることなどについて紹介します。ゼミ後半では、互いにこのテーマに関するを持ち寄り、議論をすることで知識を深めていきたいと思っています。	持続可能な開発目標(SDGs)の中に「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」と「気候変動に具体的な対策を」などがあります。これらについてどのようなことが行われているか、私たちに何ができるのかについて学んでいきましょう。 テーマはやや堅苦しいですが、自分たちが無理なくできるものは何かというのを考える機会になればと思います。